

## 『経済資料研究』の創刊を祝して

国立国会図書館館長

河野 義 克

経済資料協議会の機関誌『経済資料研究』の創刊にあたり、その意義ある出発を祝し、今後の活躍に大きな期待を寄せるものであります。

とくに本誌は、図書館業務と学界との相互協力を促進するという役割を担って誕生するということでありますが、従来ともすれば連携を欠くうらみのあった両者の緊密化は、わが国の経済学界及び図書館界双方の向上に大きな貢献をすることは疑いのないところであります。

経済資料協議会は、わが国の第一線の経済研究機関や研究者を会員とし、会員各位がとくに資料面に深い造詣をもっておられます。すでに『経済学文献季報』という優れた文献目録を刊行し、斯界における資料のパイロットとして重要な機能を果たしておりますが、かさねて『経済資料研究』の編集、発行により、資料とその利用者との間隔を縮めようとする努力は高く評価されなければなりません。

私ども図書館人としても、資料の有機的利用を助長するこのような企画の誕生はまことに喜ばしく、その成功を心から願うとともに、能う限りの協力を惜しまない考えであります。